

香菜通信

【発行】

東北中国帰国者支援・交流センター
社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会
〒980-0014
宮城県仙台市青葉区本町3-7-4
電話：022-263-0948/022-223-1152
URL：http://www.miyagi-sfk.net/

移動交流会 青森県 12月5日(月)

青森県と共催で青森市のアピオあもりにて、雪が吹雪く、悪天候のなか欠席者もなく帰国者・支援者・ボランティア総勢62名の参加で移動交流会を開催しました。地元の郷土料理の「けの汁」「生姜味噌おでん」作りや、青森県の保健師さんによる紙芝居を使った「心の健康について」の研修会も実施し、交流をはかりました。年に一度の交流会、帰国者の方々は再会をとても楽しみにしていたとの事で、再会を喜び会話が弾んでいました。このような交流活動は、年1度では少ないので増やして欲しいとの要望や、交流会についての提案の手紙も頂きました。同時にボランティアの研修会も実施し、中国帰国者定着促進センターの馬場尚子先生を講師に迎え、中国帰国者の日本語学習における支援について講演していただきました。



交流事業 料理教室 水餃子づくり 12月8日(木)

エル・パーク仙台・食のアトリエで料理教室を開きました。今回は帰国者一世の白木喜美子さんを中心に、皮からの手作り水餃子づくりをしました。帰国者とボランティアの方々がお互いに教え合い、メモを取りながら聞いている姿も見うけられました。他に卵スープと特製ラー油も作り美味しく頂きました。料理メニューについて、皆さんからのリクエストも募集しております。



センター研修会 栄養について 12月12日(月)

宮城県栄養士会の山田富美子氏をお招きして、「高齢者の食事と栄養について」研修会を開催しました。若さを保つためには、食事・運動・睡眠が大切で食事は主菜・主食・副菜をバランスよく摂ることが大切であること等写真や絵を使ってわかりやすくお話していただきました。また、震災でライフラインがストップした状況で冷蔵庫にある物を使って、実際に自分の義父に作った介護食の紹介や水の節約方法についても教えていただきました。



交流の日 朗読会 12月21日(水)

ブックフレンド中田の皆さんによるパネルシアターや紙芝居、折り紙をボランティアの皆さんと一緒に楽しみました。パネルシアターでは「大きなかぶ」を観せていただき「うんとこしょ どっこいしょ まだまだ抜けません」と皆で大きいかけ声で、日本語を親しみながら交流を図りました。



就労研修会 キリンビール仙台工場見学 12月22日(木)

仙台市宮城野区にあるキリンビール仙台工場を見学しました。震災から見事に復旧し、製造を再開した工場を見てある帰国者の方は「社長は偉い、すごい人」とほめたたえていました。工場の広さにびっくりし、自動化が進んだ工場内の従業員の少なさにびっくり、工場内の清潔さにびっくり、試飲したビールの美味しさにもびっくりしてました。



交流の日 新春の集い 1月5日(木)

新年の顔合わせを兼ねて帰国者の皆さんとボランティアの皆さん54名が一堂に会し、縁起ものの獅子舞とシャンソン歌手の佐藤よしみさんをお招きし、華やかに新春の集いを開催しました。太極拳の披露やゲームをして和気あいのひと時を過ごしました。



ボランティア研修会 11月4日(金)

中国帰国者定着促進センターの佐藤恵美子先生を講師に迎え、仙台市の宮城県管工事会館にて、ボランティア研修会を開催しました。「生活者のための日本語教育/日本語学習支援」―帰国者の“生涯学習”に伴走する―をテーマに講演していただきました。参加者からは、帰国者のおかれている環境は様々だが語学(日本語)を学ぶ大切さについて認識させられました。また、多文化共生社会の構成員として、日本人の多言語化の必要性も感じた等の感想もいただきました。

前期通学課程受講者の募集について
4月期の通学課程受講者を募集しています。応募の締め切りは3月14日(水)です。奮ってご応募ください。締め切りまでに定員に達しないコースについてはその後も募集を続けていますので、締め切り後でもお問い合わせください。
担当 教務 佐藤

学習発表会のご案内
昨年は3月13日(日)に予定していた学習発表会が東日本大震災でやむなく中止となりました。今年度は3月4日(日)エル・パーク仙台にて開催します。日本語学習や交流事業の発表、作品展示等楽しい企画を考えております。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

編集後記
立春が過ぎてもまだ寒い日が続きます。風邪は万病のもとと言います。栄養バランスが崩れると免疫力の低下につながります。ビタミン、ミネラルの豊富な食品等「バランスのとれた食事」を摂り、風邪の予防に努めましょう。